

県議会で質問した内容が県政の施策に反映されています！



14/2/4 天神での危険ドラッグ運転事故

2014年2月『予算特別委員会』において、同年2月4日、中央区渡辺通で発生した危険ドラッグを吸引しての暴走運転事故について質問し、「脱法ハーブという名称を改めること」、「ドラッグを使用して運転した場合の取り締まりを強化すべき」ということを知事と県警本部長に求め、「危険ドラッグを使用しての運転取り締まり条例を制定すべき」と求めました。

その後、『9月県議会』中の会派代表者会議において、「危険ドラッグ規制条例」の制定が取り上げられ、審議の結果、『12月県議会』において「危険ドラッグ規制条例」が県議会に上程され、可決・制定されました。

福岡県内の自転車が関係する交通事故のうち、4割強は福岡市内で発生。うち中央区での事故率が高い。特に、歩行者と自転車との事故は増加傾向にあり、賠償金額も高額化しています。2012年『2月県議会』、2013年2月『予算特別委員会』、2014年10月『決算特別委員会』で質問に立ち、自転車通行空間の整備ならびにマナー向上、規制と対策強化を訴え、県政施策に活かしました。



14/4 国体道路の自転車通行状況→



↑ 12/12 県庁ロビー

飲酒運転撲滅「生命のメッセージ展」

2012年「2月議会」で議員提案による全国初の罰則付き「飲酒運転撲滅条例」を制定し、同年9月21日より全面施行されています。本条例の附則には、「施行後3年以内に見直しを行うものとする」と規定されており、福岡県議会では2014年10月2日に「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例見直し調整会議」を設置し、同条例の改正に向けて鋭意検討を行っています。14年『2月県議会』において、「飲酒運転撲滅対策について」一般質問しました。

本県の障がい者の方々の福祉・医療・教育の充実とともに、社会参画並びに社会的自立を可能にするため就労支援に取り組んできました。障害のある方々が住み慣れた地域で安心して生活ができる社会の実現をめざします。2012年2月『予算特別委員会』では、「発達障害に対する本県の対策について」質問。2014年10月『決算特別委員会』では、「特別支援学校卒業生の就労状況と進路保障について」質問。



↑ 14/7 太宰府市特別支援学校視察

☆上記以外にも、様々な課題を取り上げ、県議会で質問。県政の施策に反映してきました。

- 本県の経済政策の推進、国際化の進展、アジアに開かれた経済対策を進めました！
- 本県のこれまでの産廃行政を質し、県産廃行政の一大転換を図りました！
- 福岡県・福岡市「セントラルパーク構想」への政策提言を図りました！
- 本県の行政改革、組織改編の取り組みを質してきました！
- 地域医療を守る取り組みを進めました！
- 消防、防災・減災の取り組みを強化してきました！
- 本県の水産行政の推進を図りました！
- 市町村支援、地方分権に取り組みました！
- 本県の環境問題の進展に努めました！
- 県立高校のICT化の推進を求めました！
- 福岡都心部の防犯対策を進めました！
- 本県の交通対策を進めてきました！